

つばさ

私たちは安全で温もりのある

医療と保健サービスの提供をめざします。

社会保険神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe-hosp.jp/>

今後の診療体制について



ご迷惑をおかけしております。



この3月の医師の人事異動では、内科以外の診療科にその機能が低下するほどの大きな変化はありませんでした。しかし、内科では部長2名をはじめ、合計6名の医師が3月末で退職しました。新任の医師は4月にならないと赴任しません。そこで、3月下旬から入院のベッドは空いていても、診療できる内科医師が不足するという事態が発生しました。これは特に消化器内科で顕著で、そのために消化器内科の患者様の新しい入院はお断りする

という非常に残念な状態に陥りました。

夜間の救急対応も同じ理由から、夜の11時から翌朝の6時までは、“かかりつけ”ではない患者様はお断りするという状況になっております。

マン・パワーが十分に整わないことには、安全な医療の提供に責任が持てません。何よりも安全性を重視いたします。このことから、皆様にはご不自由をおかけしております。

幸い、4月1日から消化器内科部長をはじめ、3名の内科医師が赴任しました。また5月1日からは、消化器内科専門医が1名着任します。新しい医師が病院のシステムに十分慣れ、その本来の力を発揮できるまでに、ひと月程の時間が必要です。もう暫くのご猶予をお願いいたします。

5月1日からは、消化器内科をはじめ、内科の入院診療は従来の機能をほぼ回復します。また、5月下旬以降には夜間の救急対応も元に復せるものと信じております。

どうか、いま暫くのご不自由をお許しいたきますよう、お願いいたします。

病院長 西尾 晃

●●● 救急受入体制変更のお知らせ ●●●

初診患者様の救急外来の受付が一部の時間帯（夜11時～朝6時）でお受けできなくなりました。

ただし、次の場合は常時受付いたします。

①本院で透析中の方、緩和ケア外来や当院在宅看護に登録されている方。

②現在お掛かりの病気の関連で救急外来受診を希望される方。

詳しくは下記の表をご参照下さい。

	朝6時～夜11時	夜11時～朝6時
現在お掛かりの病気の関連で救急外来を受診	○	○
現在お掛かりの病気以外で救急外来を受診	○	× (ただし本院二次救急輪番日は○)
本院で治療を受けておられない方	○	× (ただし本院二次救急輪番日は○)

※救急受診時には診察券・保険証をご用意されて、事前に当院まで電話で連絡して下さい。

●●● 消化器科 外来受付時間変更のお知らせ ●●●

消化器科医師退職の為、3月より受付時間を短縮しておりましたが、

医師の着任に伴い5月7日より受付時間を下記の通り変更致します。大変ご迷惑をおかけいたしました。

初診受付：午前 8：30～10：00 ⇒ 午前 8：30～11：30

再診受付：午前 7：30～10：00 ⇒ 午前 7：30～11：30





近隣医療機関のご紹介

中野内科医院

〒651-1213

診療科目：内科・消化器科・循環器科

神戸市北区広陵町1丁目159-1

診療時間：午前9時～12時
午後4時～7時

電話 078-582-5535

休診日：木・土午後
日・祝祭日



中野 修 先生



早いもので、広陵町で開院し10年が過ぎました。専門分野は、糖尿病や動脈硬化などの生活習慣病が基となって起こる脳梗塞や心筋梗塞などの重病を未然に防ぐための早期医療、および胃腸病の診断や治療です。しかし、開院するからには『かかりつけ医』に徹しようと思っていましたので、専門性は前面に出さず、基本に徹し患者様が今おかれている状況を日常生活も含め、きめ細かくチェックし、診察の都度見直しながら、的確に判断することを心がけてきました。CTやMRI検査などの高度医療は行えませんが、その分、より丁寧に治療することができ、一診療所で可能な検査を駆使することにより、結果として専門分野にとどまらず、診療科を超えて種々の病気を早期発見する事が出来たという印象があります。

今後も、社会保険神戸中央病院をはじめ、近隣の先生方とともに、『かかりつけ医』としての技術を磨き、皆様に還元できれば嬉しく思います。

認定看護師紹介



がん化学療法看護認定看護師
外来 山田 磨利子

はじめまして。外来で勤務している『がん化学療法看護認定看護師』の山田磨利子です。以前は内科病棟に勤務し、抗がん剤の副作用に耐えながら、頑張ってお治療を続ける患者さんと数多く出会いました。ここでもっと専門的な知識をもって患者さんを支えられたらと思い、認定看護師の道を目指しました。

化学療法の分野は新しい薬の開発が進み、がん治療の中でも重要な役割を占めるようになりました。がん化学療法看護認定看護師は、病気や治療の相談、副作用のコントロールや、患者さんの生活背景に合わせた日常生活のアドバイスをし、化学療法を受ける患者さんとその家族をサポートしています。

最近の化学療法は、外来・在宅で治療することが多くなっています。当院には2階に化学療法室があり、リクライニングチェアでリラックスして治療が受けられるような環境になっています。また、各科の医師や外来看護師と連携し患者さんが安心して治療が受けられるようスタッフ一丸となって頑張っています！なんでも相談してください。一緒に考えていきましょう。



新任医師紹介



安田 光徳：消化器科
 身体に優しい安全で低侵襲な治療を心掛けています。消化器診療24年の見識と技量を生かしたいと考えています。宜しく願い致します。



婦木 秀一：消化器科
 消化器科として勤務しております。早く皆さまから信頼される医師になりたいと考えています。



北村 利華：内科
 専門：内科・呼吸器
 地域の皆さまのお役に立てよう頑張ります。よろしくお願い致します。



稲垣 孝徳：内科
 早いもので内科医となつて12年目となりました。この度、縁あって社会保険神戸中央病院に勤務することになりました。よろしくお願い申し上げます。



鏡 亮吾：内科
 初心忘れることなくスタッフと力を合せて患者様、ご家族様の思いに沿った医療を尽くせるよう頑張っていきたいと思っております。



倉田 香織：小児科
 親しみやすく話しやすいムード作りを心がけています。困ったことがあれば、いろいろ相談してください。



中川 登：外科
 専門：胃
 北区医療圏の患者様の手術は当院でさせて頂けるようにをモットーに、地域医療のみならず消化器外科領域の治療成績向上に尽力します。よろしくお願い申し上げます。



近藤 裕：外科
 状況に流されず平常心と笑顔と反省を考える事を常に忘れず、そこはかとなく頑張ります。



梶川 佳照：整形外科
 専門：膝関節
 本年1月より毛利先生に代わり赴任しました。膝関節が専門です。よろしくお願い致します。



三輪映美子：眼科
 眼科専門医
 地域の皆様に安心して受診していただけますよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



西村 元喜：放射線科
 より精緻な画像診断、各種画像を用いた、より低侵襲な血管内治療や放射線治療を目指して日々研鑽しています。



橋本 洋一：脳神経外科
 5月からお世話になります。今まで脳血管障害・外傷を専門に診てきましたが、血管内治療にも興味があり、松本部長に学ばせて頂きたく、こちらに参りました。宜しく願い申し上げます。



木村 幸平：麻酔科
 麻酔ガスを使わない環境にやさしい麻酔で皆様に安全かつ快適に手術を受けていただけますよう頑張ります。趣味：バイク・ダイエット



奥田美穂子：歯科
 神戸大学医学部附属病院口腔外科医局より赴任して参りました。口腔機能を維持することは、健康増進につながると思っています。患者様の生活の質の向上のために頑張りますのでよろしくお願い致します

研修医（1年次）



八木 信哉



中村 周



金久 史尚



研修医（2年次）



西山亜紗子



退任医師のお知らせ

内 科：千丸 貴史
 大川 善文
 酒井 新
 藤井 涉
 消化器科：中川 修史
 呼吸器科：横村 一郎

小 児 科：八木加奈恵
 外 科：小林真一郎
 氏家 和人
 飯高 大介
 眼 科：大島富太郎
 脳神経外科：辻野 仁

研 修 医：山脇 敬博
 林 由布子
 大本 哲也
 品川 秋秀
 大塚 敏弘
 仲栄真諒子



病気のお話 小児のウイルス性胃腸炎 ノロとロタ

小児科 坂本 泉



『ノロ』と『ロタ』と混同しそうな名前ですが、どちらも主に子供に嘔吐下痢、時に発熱を引き起こすウイルスです。どちらも白色下痢を呈する可能性があります。

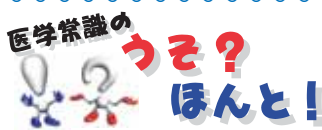
もうひとつアデノウイルスも白色下痢になることがあります。

ロタ腸炎はウイルスが検出できない時代は冬季白色下痢症と呼ばれていました。12月頃より6月頃まで毎年流行しますが、現在は便の迅速反応で10分程で診断がつきます。『ノロ』は最近まで小形球状ウイルスなどと呼ばれ“ノロ”と統一名が付いたのは、ここ3年程です。昔から秋から冬に流行する「げぼかぜ」と呼んでいたものです。成人は生の貝類からの食中毒もありますが小児の多くは人から人へ或いは乾燥後吐物の飛沫感染による流行です。まだ便からの迅速反応は保険も利かず感受性が少し問題のため普及していません。このためノロの診断は症状からの推測が殆どです。ノロ胃腸炎の多くは半日の嘔吐が特徴で、下痢、発熱は小児では軽く、24時間でほぼ回復します。一方ロタ腸炎は1週間位の下痢が持続し、当初の嘔吐、発熱もひどく、特に2才頃までは、脱水に注意が必要です。世界中では年間61万の乳幼児が死亡しているとの報告もあります。

ロタの疑いがある時は、便を持参していただき、場合によっては輸液などの処置も必要です。ただ、ロタによるひどい症状は一生にほぼ1回の感染です。

これに比べ、ノロはインフルエンザのように毎年感染する可能性があります。

以上、ノロとロタ、紛らわしいですが、お子さまがどちらに罹ったのか間違わないで記憶しておいてください。



子どもにもメタボリックシンドロームはあるの?!

4月から40歳以上、75歳未満の方に特定健診がはじまりました。メタボリックシンドロームの発症予防のため、おなか周りに注意する人も増えたのではないのでしょうか？

メタボリックシンドロームの危険性は中高年になったらおこるものではなく、肥満のある子ども達（小中学生100人集まれば、そのうちの10人は肥満ともいわれています）にもメタボリックシンドロームの危険性は認められています。

メタボリックシンドロームの診断基準は子どもと大人では基準値が異なるものもありますが、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけて肥満の予防、改善に努めることが大切です。

肥満の対策

◆決まった時間にきちんと食事をする

朝食の欠食や夕食の時間が遅いと生活リズムが乱れるだけでなく、肥満につながる原因となります。**まずは、しっかりと朝食を取り、三度の食事を出来る限り規則正しく**取りましょう。

◆家族で食事を楽しむ

子ども一人で食事をする、テレビを見たりしながらの「ながら食」が増える可能性があります。「ながら食」は、食事の満足感が得られにくく、過食につながる場合もあります。**家族のコミュニケーションを図り一家団欒の食事の機会を増やしましょう。**

◆おやつを見直す

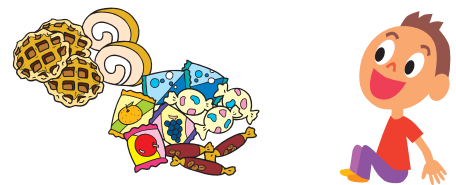
市販の snack 菓子やファーストフードが大好きな子どももいると思いますが、カロリーが高いものが多いので、量や内容を見直してきましょう。

◆スポーツに親しむ

地域や学校のスポーツイベントなどに参加し、家族や友達とともに身体を動かすことを楽しみましょう。

◆TVやゲームをする時間を決める

TVの視聴やゲームを長時間行っていると運動不足になりがちだけでなく、おやつを「ながら食」してしまうこともあります。



・・・子どもとスキンシップをはかりながら楽しく健康づくりをしていきましょう。・・・

おいしい栄養学

コーンシュウマイ

栄養課 土居 素子

<材料 4人分> 1人分 216 kcal

とうもろこし…小2本 春雨(もどしたもの)…40g
 長ねぎ…1本 しょうが…1かけ
 豚ひき肉…200g 片栗粉…適宜

A { 塩・こしょう…各少々
 しょうゆ…小さじ2

練りがらし、しょうゆ…各適宜

とうもろこし、豚肉には疲れを癒すビタミンB1が豊富。また、とうもろこしは炭水化物、蛋白質、ミネラル、食物繊維などもバランス良く含み、老化を遅らせるビタミンEも含まれています。缶詰や冷凍など安価でご利用いただけますが、これからの季節のフレッシュなものは甘味があり、おいしくいただけます。

<作り方>

- ①とうもろこしはラップに包んで電子レンジで約10分加熱し、包丁で軸に沿わせながら粒を切りはずす。
- ②春雨は1cm長さ、長ねぎとしょうがは、みじん切りにし、ひき肉とともにボールに入れてAを加え、粘りが出るまで良く練る。12等分し、両手で転がして丸め片栗粉をまぶし付ける。
- ③①のとうもろこしを②の表面にすき間なく付ける。
- ④レタスを敷いた蒸し器に並べ、12~13分強火で蒸し、辛子醤油で食べる。

